

YOROZU

サステナビリティ方針説明

2026年 ヨロズグループ会社状況説明会



お願い事項

本説明会の内容は弊社取引先の皆様向けのものとなります。
弊社と取引のない第三者へ提供されることが無きよう
情報管理の徹底を何卒よろしくお願いいたします。

2026年 4月 9日

ESG推進室

本日のご説明内容

1. サステナビリティに対する考え方
2. ESG経営の基本方針
3. サステナビリティガイドライン
4. 取引先様へのアンケート結果
5. 環境Eの取組み
6. 社会Sの取組み
7. ガバナンスGの取組み

ヨロズのサステナビリティに対する考え方

- 我々ヨロズグループはこれまで、創業の理念、精神を尊び、今日まで発展してまいりました。
- その活動において、
環境問題、人権問題などは世界共通の課題であり、また自動車を取り巻く環境も日々変化していることから、我々は地球と社会の変化を見極め、その変化に対応し、サステナビリティの観点と社会からの信用を重視しながら、事業を発展させていかななくてはならないと考えています。

＜ヨロズ サステナビリティガイドラインより＞



ESG経営の基本方針



環境対応を武器にしたものづくり

Environment

- 脱炭素生産へのたゆまぬ挑戦
- スマートファクトリーの実現（モデル工場の実現）



エンゲージメントの向上

Social

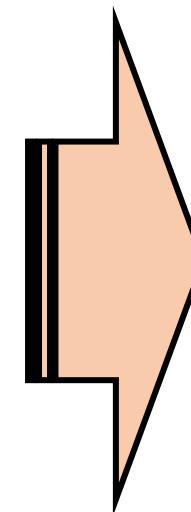
- 健康経営の推進
- DE&Iの実践



ガバナンスの向上

Governance

- ガバナンス・コンプライアンスの強化
- 適正取引の順守



ヨロズサステナビリティガイドライン
取引先様と共に活動

ヨロズ サステナビリティガイドラインについて

本ガイドラインは、
取引先様の企業活動をESGの視点で自己診断して
いただき、さらなる高みに向けての活動につなげることを
目的にESGの共通項目をまとめております。

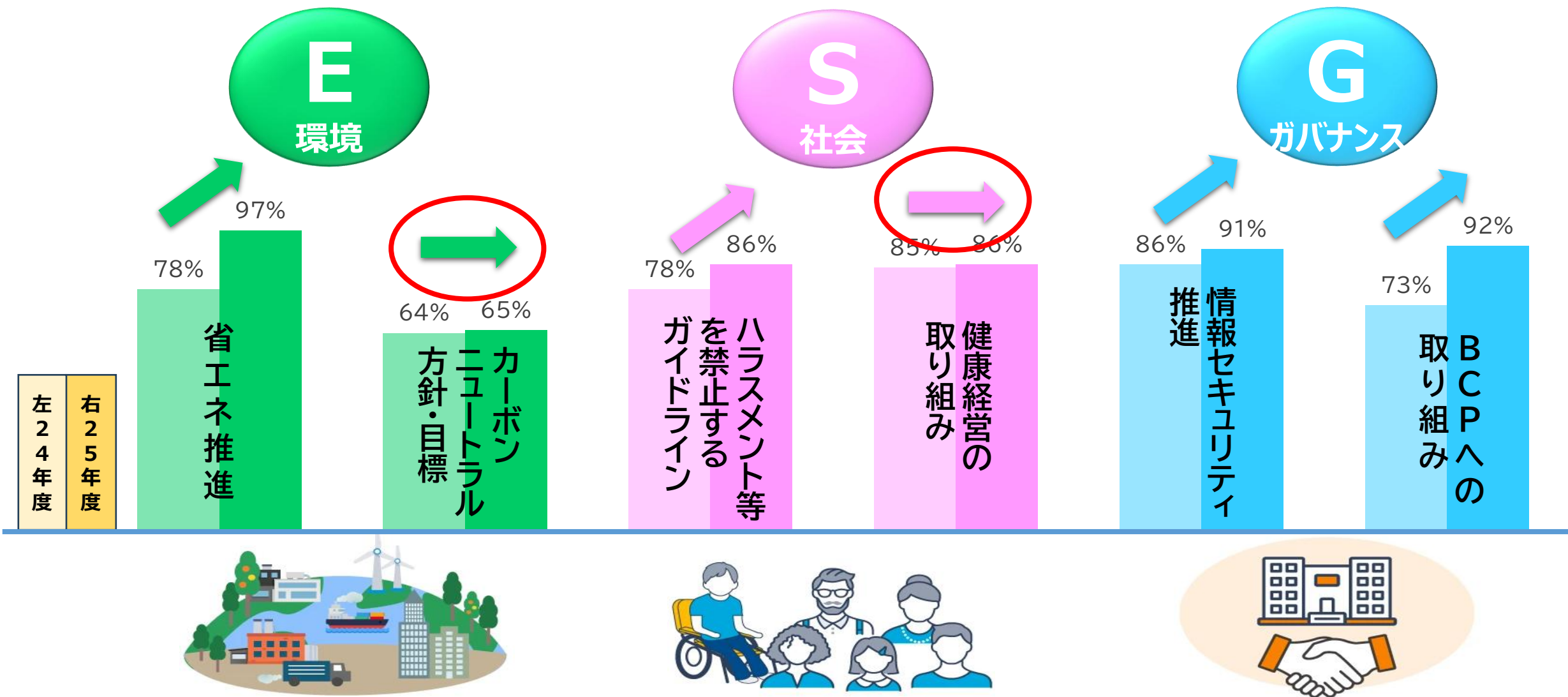
- 1. コンプライアンス
- 2. 安全、品質
- 3. 人権、労働
- 4. 環境
- 5. 責任ある資源・原材料調達
- 6. 地域社会との共生、情報開示
- 7. サプライチェーンへの周知徹底
- 8. サステナビリティガイドラインの遵守



サステナビリティガイドラインのご理解とご活用をお願いいたします。

取引先様へのアンケート結果

アンケート・主要アイテム結果（83社様の取り組み割合）



「ヨロズ・グリーン調達ガイドライン」について

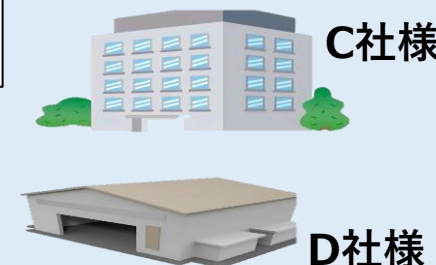
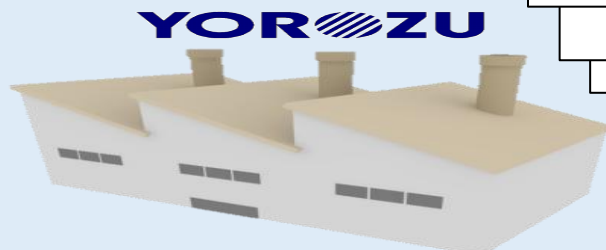
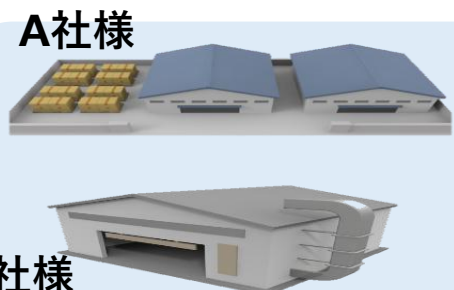
【ポイント】

◆取引先様でのカーボンニュートラル活動

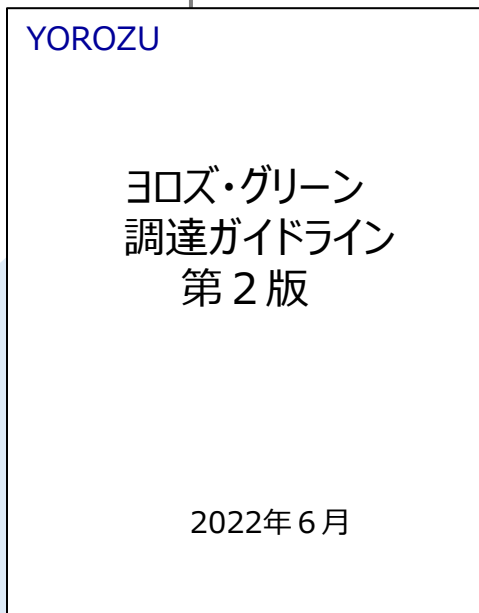
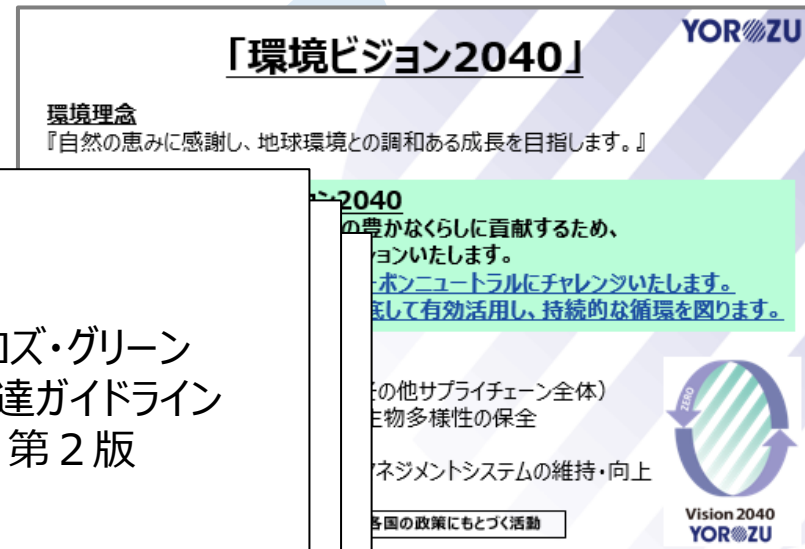
👉 達成時期：2050年までに

◆「ヨロズグローバル環境ビジョン2040」

👉 2040年カーボンニュートラルへチャレンジ



【情報交換】CO2排出量削減活動の事例、カーボンニュートラルに向けた活動計画



◆DE&Iの実践

誰もが能力を発揮し活躍できる
環境づくり

ダイバーシティ戦略の構築

多様な働き方の推進

(Diversity)多様性、(Equity) 公平性、
(Inclusion)受容性



◆健康経営の推進

『健康で働き“がい”のある職場づくり』

働きがい改革

健康づくりのサポート

生き生きと働ける職場づくり

エンゲージメントの向上へ

この会社ですっと働きたい、この会社で働けてよかった



社会Sの取り組み 健康経営の推進

① セミナーの開催と毎月の健康講話を実施

2025年度

- ・拠点のお昼休みに合わせて「熱中症対策」セミナーを開催
- ・15時の休憩に肩こりWebセミナーを開催
- ・女性健康セミナーの実施（対象：女性、管理職）
- ・健康講話を毎月の安全衛生委員会や、月頭朝礼で実施
- ・ご希望のサプライヤーに健康講話を配信中

② ポケットセラピスト

セルフケアの実施

一人ひとりの症状に合わせた「セラピスト」と面談



③ 自動販売機を活用した健康アプリ

(サントリー様)



④ GLTD制度の導入

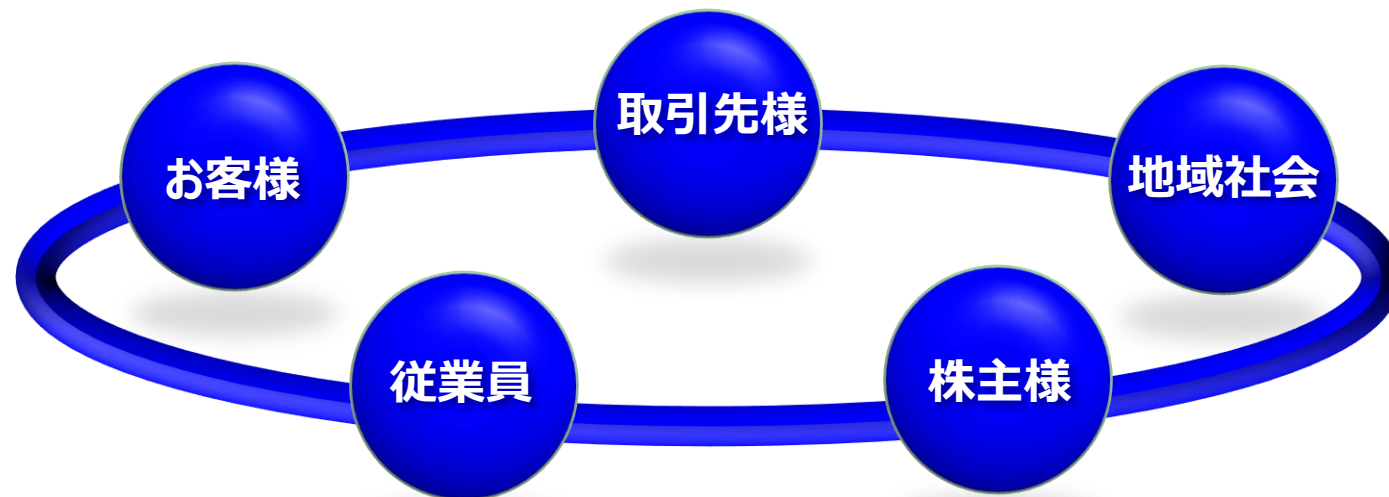
Group Long Term Disability (団体長期障害所得補償保険)



健康時の収入	有給期間	プラン70%	プラン③ 70%
		プラン50%	
健康保険	健康保険	プラン30%	プラン② 50%
		会社10%	
		会社補償 10%	プラン① 30%
			会社補償 10%

意見交換や情報共有など、ご相談をお願いいたします。

人権・法令遵守、機密情報管理、腐敗防止の徹底



ステークホルダーからの信頼に応える

人権・法令遵守

機密情報管理

腐敗防止

万が一、事故や不祥事が起きた際、サプライチェーン全体に影響が波及しますので御社取引先様にも本活動をご展開いただきたく、ご協力をお願いいたします。

「人権リスク」という視点で社会の期待に応える企業経営

①人権方針の策定・開示

②救済措置

③モニタリング

④潜在リスクの特定

⑤影響特定と評価

⑥是正への取組み

⑦予防・軽減

⑧情報開示

«取組み実績»

“**当たり前**のことを、**当たり前**にやっていきたい”

○25年3月、当社グループが重点的に取組む人権リスクに「**ハラスメント全般**」「**差別**」を特定

○同年5月には、経営トップの思いを含め国内外全拠点に対して「**人権方針**」を再展開

○26年1月～2月 取引先様情報交換会

ヨロズは、これからもサプライチェーン全体の取組みとして、人権DDを推進して参ります。

まとめ) ヨロズから御社へ (パートナーシップ構築宣言)

パートナーシップ 構築宣言



E

環境

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた計画策定サポート
- ・ヨロズの取組み経験を生かした具体策のご共有

S

社会

- ・人権、健康経営に関する従業員向けのセミナー
- ・健康経営に関する活動のサポート

G

ガバナンス

- ・取引適正化に関するご相談



ヨロズとの共同活動へご参画をお願いいたします。

YOROZU